

船舶事故等調査報告書

平成21年10月1日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第196号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年6月1日 09時30分ごろ	
発生場所	阪神港大阪区木津川荷揚げ岸壁	
事故等調査の経過	平成21年7月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第二瀬戸内丸、410トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 131861、大晴海運有限公司</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	ビルジキールに損傷及び推進器翼に欠損	
事故等の経過	本船は、海砂約870m <sup>3</sup> を積載して阪神港大阪区木津川荷揚げ岸壁に着岸作業中、平成21年6月1日09時30分ごろ、船底及び推進器に衝撃を受けた。	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1</p> <p>海象：平穏 潮汐 下げ潮の末期</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、浅瀬が存在する岸壁付近で着岸作業中、潮高及び川の流れに対する配慮が適切でなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、阪神港大阪区木津川荷揚げ岸壁において着岸作業中、潮高及び川の流れに対する配慮が適切でなかったため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	